



今月のテーマ

第1439回例会

2016年7月21日 Vol.31/No.3

■ 次回の例会 / 第1440回 平成28年7月28日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告……………各委員長
- 新会員イニシエーションスピーチ…海老原 猛 新会員
- 会員卓話……………長岡紀行 会員

【出席率状況報告】

- ・ 会 員 数 ……………55名
- ・ 出 席 者 ……………36名
- ・ 欠 席 者 ……………19名
- ・ 出 席 率 …………… 65.45%
- ・ 7 / 7 の修正出席率… 80.00%

■ 会長挨拶

会長 香川美穂子



こんにちは！梅雨も明けいよいよ夏の到来。昔はクーラーもなく扇風機どころか団扇で涼を取りながらの生活を私も経験しておりますから、ナンダカンダ言いまして「今は楽だな～」と思います。その代わり昔は、「如何に暮らすか」という事への工夫を日々の生活の中でしたものです。その工夫は知恵となり、どう抵抗しても勝てる相手ではない自然と共に生きるには「どうあるべきか」を考え、人類はその制約された環境の中で楽しんで暮らす術を身につけて来たのだと思います。それがその民族の文化であり習慣になったと思います。

ニュースでご存知だと思いますが、7月17日京都で祇園祭のメインイベントである巡行が行われました。祇園祭は7月1日から始まり1ヶ月を費やすお祭りです。今回も行ってまいりましたが、山鉦の一つ一つには意味があり、飾られる装具や練り歩く人々の衣装にも全て意味が込められ動く美術館・動く文化財の様相でした。1000年以上続くこのお祭りと共に生活している地元の人々は「祇園祭」を中心に置いた1年の過ごし方をしておられるようで、文化を守っていくエネルギーの凄さ、人の想いの強さを感じずにはおられません。小さな子供達が浴衣を着てお囃子を聞きながらあちこち鉦を見物している様を見てると「あ～こうして文化を学んで行ってるんだな～」「生活の中から日本人の感覚を学んでいるのだな～」と思いました。毎年毎年経験していくうちに「大きくなったら鉦を引きたい」とか「あのお役目をやって行列に加わりたい」とか思う事でしょう。その時に沢山の先輩達から「如何に行動すべきか」「如何に振舞うべきか」を学び、礼儀作法・日本人の心意気を身につける事でしょう。

今の日本人は本来なら当然親や周りの大人から教え込まれる礼儀作法・道徳といったものを教えられておりません。親もその意識が希薄で、子供の躾や管理監督を放り投げてスマホに夢中です。私は球磨焼酎で有名な田舎にある75年ほど前に建てられた祖父の家を守っております。そこは宮大工が作った純然たる日本家屋で釘一本使っていない家です。玄関は2つあり1つは長男である私の父が帰ってきた時のみ開けられ、私たちは使えません。各部屋には床の間が付いており、カギ型に部屋が連なっていて、冠婚葬祭はその部屋を開け放っておこなわれました。そういう家で私は今、地産地消の食事を出す店をやっておりますが、今時の親子が来る時は店の者は気が気じゃ無いそうです。何しろ親は子供を管理せず、子供が床の間に上がったたり下がったりと遊ぶのを注意もしないどころか自分も腰掛けるそうです。また食事が並ぶテーブルにおむつをつけた子供を腰掛けさせたり、他のお客がいる前でおむつを替えたりと、我々世代では考えられない様な行動をとるそうです。こんな感覚ですから子供達が飽きて長い廊下を走って遊んでいても「だめよ～」と軽く声をかけるだけであとは連れのママ友同士でおしゃべりに夢中とか。要するに気配り、他人への礼儀を忘れているどころか知らないのでしょうか。「いつから日本人はこうなってしまったのか」と情けなく思います。ですから私は「日本人の暮らしはどうだったか。如何に繊細な神経・感覚を生活空間の中から学び、教えられてきたか」を伝える場として、その家を活用したいと思っています。店の者には「その様な無作法な客には帰ってもらいなさい」「障子に穴を開けたら、修理してもらいなさい、障子張りがどんなに大変かを経験させなさい」と言っております。自分でやってみないと何事もわからないのですから。私としては

「serving humanity」の実践です。それとも今の人は「おせっかい」と見るでしょうか？

■幹事報告

幹事 江藤敏治



みなさん。こんにちは。幹事の江藤です。幹事報告として、①8月4日ガバナー公式訪問日は100%出席を目指す。②新会員推薦が6名ありました。③9月30日～10月2日は指宿にて地区大会が開催されます。ご出席の程どうぞよろしくお願いいたします。

今週のミニ健康テーマはペットボトル症候群です。突然気分が悪くなったり、吐き気やめまいがしたり、おなかが痛くなったり、時には意識が消失してしまうなど危険な状況を引き起こすことがあります。最近10代から30代でよく起こる病気にペットボトル症候群があります。

この年代の人は時にソフトドリンクを1日1リットルとか飲んでしまう人もいますが、皆さん1リットルのソフトドリンクにどれだけ砂糖が入っているかご存知でしょうか？角砂糖にしておよそ30個入っています。それだけの砂糖を毎日摂取しているとすい臓から血糖を下げようとインスリンが頑張って分泌しても最後には枯渇してしまいます。その結果重度の糖尿病が発生しペットボトル症候群になってしまうのです。ソフトドリンクを、たまに気持ち飲むのはいいと思いますが、のどが渇いた時には水かお茶にしようとする従業員の方にお伝えください！

新年度活動方針

■出席委員会

委員長 岡田圭史



皆さんこんにちは。この度出席委員長を務めます岡田圭史です。よろしくお願いいたします。活動方針として、常時出席率を80%としてかけ、出席率の悪い会員には温かい声かけや、メイクアップ活用の呼びかけなどを行なってまいりたいと思います。声かけの一環としてショートメールによる「メイクアップ（サイン）の場所、日時のお知らせ」をやってまいりたいと思います。多忙な皆様にとって毎週の例会に出席するのは大変困難なことだと思いますが、ぜひご協力の程よろしくお願いいたします。

■クラブ会報委員会

委員長 坂本弘史



(活動方針) 1. 週報の作成を通じて委員の親交を深める。2. 委員会で協力し合いながら製作する。

3. プログラム委員会と連携して、原稿依頼を早めにする。(活動計画) 1. 例会ごとの週報作成。2. 予算内に収まるようにする。

最後に皆様にお願致します。発表されました内容の原稿はできるだけ当日に委員会にお渡し下さい。又は原稿のできてない人は翌週月曜までにメールで奥野さんの方に送って下さい。

■会員選考委員会

委員長 鳥山 浩



1. 活動方針/職業分類・増強委員会と情報を共有し、多くの会員候補者を速やかに選考したい。2. 活動計画/推薦が提出されれば、委員会を開催して速やかに手続を実行したい。

■ロータリー財団委員会

委員長 瀬浅敏幸



1. 活動方針/クラブをあげて財政的支援活動を行い、R財団を支えていく。クラブ会員の寄付や財政支援を通じR活動の活性化を図っていく。地区目標を例会で確認し、達成にむけ努力していく。2. 活動計画/1) クラブ会員全員がボールハリス・フェロー取得。2) 会員全員に平等な金額の寄付のお願い。3) 地区補助金、グローバル補助金の活用促進化。4) ベネファクター会員の増加。

■米山奨学委員会

委員長 山川 力



米山記念奨学委員長の山川です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。ロータリー米山記念奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生の皆様へ、ロータリアンから奨学金を支援に将来より理解者を増やしていきたいというのが狙いなのですが、出来る事なら将来ロータリアンになって活躍してもらいたいのが最大の狙いだと私は理解しております。寄付金の集め方ですが、クラブから定期的に送金する普通寄付と任意で個人法人から集める特別寄付があります。こちらにご協力をお願い致します。

発行/宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/香川美穂子 副会長/三輪修珍・田中 寿 幹事/江藤敏治